

2023年6月22日

住友生命保険相互会社

WWF ジャパンの海洋保全活動への支援に対し紺綬褒章を受章

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（会長 末吉 竹二郎、以下「WWF ジャパン」）の海洋保全活動への支援により、紺綬褒章を受章しました。

2023年6月21日には、環境省にて賜物伝達式が執り行われ、褒状が授与されました。

*紺綬褒章とは、公益のために私財を寄付し、功績が顕著な個人または法人・団体に対し国から授与されるものです。

住友生命は、2008年からWWF ジャパンが取り組むサンゴ礁保全プロジェクトを支援してきました。2022年からは同会の海洋保全活動への支援を通じ、豊かな海の未来を守る活動に貢献しています。

また、地球環境の改善への取組みを重要な経営課題の一つに位置付けています。2030年のありたい姿を定めた「住友生命グループ Vision2030」においても、「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」を目指すうえで、その対象となるステークホルダーの1つとして「地球環境」を掲げています。

また、地球環境の改善については、健康増進や子育て支援とともに社会貢献活動の重点分野として取組みを進めています。

海が抱える多くの問題は、年々深刻化しており、海の自然の豊かさは失われ続けています。豊かな海の未来を守るためにはさまざまな取組みが必要であり、これからも住友生命は、WWF ジャパンへの支援を通じて海洋保全活動に貢献していきます。



伝達式の模様



環境省 自然環境局長 奥田直久氏（右）
WWF ジャパン 事務局長 東梅貞義氏（左）
住友生命 取締役 代表執行役専務 角英幸（中央）

以上